

問

感染拡大の防止から授業時間が削られた分、冬休み期間を短縮し授業に当てるのが。小中学生などの感染拡大の防止から集団的な接種を行う考えはないか。基礎疾患を有する人と一歳から就学前の幼児に対する接種予約状況はどうか。医療機関での、ワクチンの確保は万全か。妊婦の予防接種状況、未接種の妊婦への今後の対応はどうか。町立病院にどの程度の量・人数分を確保、供給見通しはどうか。経済的に生活が苦しい人もいる。ホットな施策として妊婦や基礎疾患のある人、一歳未満児の保護者、一歳から就学前の幼児、小学一年生から高校生、優先対象者で身体的理由で予防接種ができない人の保護者、六十五歳以上の高齢者に対し接種費

川村多美男 議員
新型インフルエンザワクチン接種状況と今後の対応について

町教育長 小中学生の集団接種はワクチンが無駄にならぬよう検討して行く

用助成（半額又は全額）をすべきと考えるが町長・教育長の所見を伺う。

答

小中学生の集団接種はワクチンが無駄にならないよう検討していく。ワクチン確保は町立病院に六十人から九十人分を確保している。妊婦のワクチン接種は十五人で町内居住は八人が接種を終了、未接種の妊婦対応は妊婦相談等の機会に接種の意思確認をして行く。

優先対象者以外で接種した者のうち生活保護受給世帯に属する者及び市町村民税非課税世帯に属する者に対し接種費用の全額を助成する。

答

冬季休業は標茶小学校が授業時間が足りなく冬季休業の前後で一日ずつ、虹別中学校の三年生で冬期間、後半の二日間に対応する。

一般質問

町政を問う

第四回定例会では四名の議員が行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

問

標茶高校は平成十二年に総合学科へ転換され、早十年が経った。

一学年四間口、定数百六十名だったが、平成十七年に三間口になり、今年度五月一日現在、一年生八八名、二年生一〇二名、三年生八一名となっている。

今後八〇名をきると間口の減少が懸念されることから、次の点について伺う。

標茶高校の存在をどのようにとらえているか。生徒が減少した場合、どのような状況となり、どのような影響があるか。

町では今まで生徒確保に向けてどのようなことを、行ってきたか。町内出身の生徒の割合は平均で六六％である。総合学

答

標茶高校は地域特産品の開発や環境研究の機関として、まちづくりの拠点として位置づけられる。

生徒数が減少して間口減になると、教員数も減少して地域経済にも影響する。支援制度は引き続き、寮生に対する支援を中心に対策を講じていく。

町は、高校の教育振興会に支援集推進事業を継続し、町内外への情報提供、PR活動により、入学者の確保を期待している。



標茶高校

深見 迪 議員

予算編成の過程を住民に公開すべきではないか

町長 これまでの手法をさらに強化していく

問 予算の編成権は町長にあるが、予算を作成する過程に住民の姿や声がよく見えてこない感がある。

地域での町政懇談会や直接の住民要望、あるいは各担当課の日常的な地域や住民との接触などからの情報、分析など、いわゆる財政民主主義の取り組みはある程度なされていると思うが、予算に反映させる手立てとしてこれらの規模、回数など状況はどのようになっているか。

町財政については、さまざまな請求権が住民に与えられているが、予算策定に当たって、日常的に直接住民が予算編成や政策の決定、行政評価に参加できる仕組みの取り組みは、まだかなり不十分な状態にあると考える。

予算編成への住民参加は、ま

ちづくりには不可欠の条件と考えるが、町長の所見を伺う。

当面、各担当課が具体的にどのような予算要求をおこなったのか、それに対し財政担当課がどのように査定を行い、町長の最終査定になったのか、その過程をそれぞれの根拠も含めて住民に明らかにし、公開すべきと考えるがどうか。

答

予算編成に当たっては、町政懇談会、住民要望、日常的な住民との接触に加え町政執行にかかわる各種委員会からの提言や、意見が背景となり反映させている。

予算編成プロセスの中においてすでに住民の参画を得ている。住民参加が基本であることはもちろんであり、これまでの手法をさらに強化することによって現状、最良ではないかと考えるがさらに検討していきたい。



予算ヒアリング

菊地誠道 議員

『やすらぎ園』入居待機者解消のための福祉政策について

町長 増床については関係機関と協議していく

問 『やすらぎ園』入居待機者解消のための福祉政策について四点伺う。

①待機者一二四名の中で町内待機者が九一名で、要介護四・五の方で、三六名だが、第四期高齢者保健福祉介護事業計画の中で増床数を確保する協議の状況について。

②駒ヶ丘荘を自立生活困難者の施設及び特定施設入居者生活介護施設へ転用の検討をするところがあるが、その後の経過を聞く。

③町立病院改革プランで病床数を削減した場合の有効活用として、待機者解消を図ることも検討されていると思うが状況について聞く。

④町内で民間の高齢者対応の施設があるが、公共施設と比較し利用料に差があると聞くが、どのように把握しているのか。

答

①介護療養型病床の老人保健施設廃止方針の凍結が打ち出され、介護療養型病床の老人保健施設や特別養護老人ホームへの療養病床転換促進計画の見直しも必要になることから、釧路圏域における療養病床の転換や待機者の介護度の状況とともに保険料への影響も検討し増床については関係機関と協議していく。

②特定施設入居者生活介護施設の整備として駒ヶ丘荘を特定施設入居者生活介護施設としての改修費用と建設費用が変わらないことから、自立した方を対象にした施設として考えているが、設置についてはニーズを把握し検討していく。

③関係法令では、施設、浴室、食堂等を介護老人福祉施設と共用はできないが、指定を受けるためには専用施設を持たなければならぬことから、削減病床を介護老人福祉施設として活用することは困難であると考える。

④法律の適用を受けられない施設は設置者が決めることから、利用料格差の言及は適切でないと考えている。



やすらぎ園